



たはらトピックス

公共施設の未来を考える

ID 1001514

公共施設の現状

本市では、全国の自治体と同様、高度経済成長期や人口の急増期において、より便利に、より多くの人に対応できるように、さまざまな公共施設の整備を進めてきました。

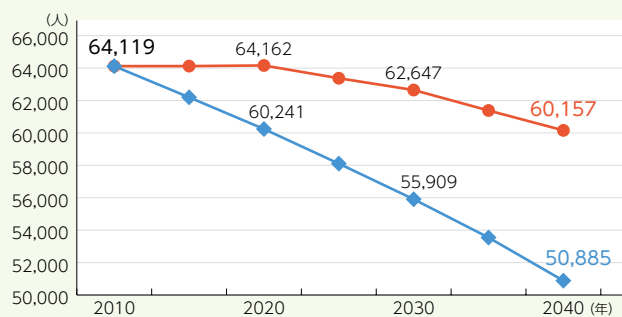
平成15年および平成17年の2度の合併によって、管理する公共施設はさらに増え、市民1人当たりの公共施設延べ床面積が6.10㎡/人と、東三河5市の中で最も大きくなっています。(平成25年度田原市公共施設白書)

建て替え・改修問題

今後は人口減少により施設利用者が減り、また少子高齢化が進むことで市の予算規模が縮小していくことが予想されます。その一方で一斉に施設の建て替えや大規模改修の時期を迎えるため、多額の費用が必要になります。

将来子どもたちにこれ以上負担を増やさないために、公共施設の更新問題を考えなければならない時期にきています。

●田原市の人口推計



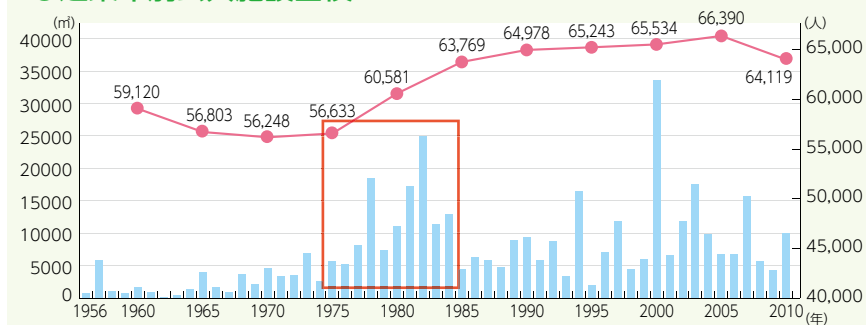
推計値: 国立社会保障・人口問題研究所の平成25年3月推計に準拠
市の目標値: 田原市人口ビジョン(平成28年3月策定)より引用



働く世代が減れば
税収も減ってしまうのかー。

2010年から2040年までに、**65歳以上の人口は約3,600人増加**する一方、**15歳～64歳の生産年齢人口は約13,000人減少**すると推計されています。

●建築年別公共施設面積



床面積: 田原市公共施設白書 人口: 国勢調査



合併で同じ種類の施設が増えたことも課題だのん。

田原市では昭和50年代(1975年～1984年)に多くの施設が整備され、**建築後30年以上が経過**しています。

公共施設とは

国や地方自治体(県や市町村など)が建設する施設。本市では市民館や学校、文化会館などのいわゆる「ハコモノ」と呼ばれるものだけでなく、道路や橋・下水道などのインフラも含め公共施設と捉えています。



▲市役所



▲文化ホール



▲図書館



▲学校施設